

一般財団法人MRAハウス
2017（平成29）年度「日本とアジアの未来」プログラム
第7期 募集要項

I テーマ

「日本とアジアの未来」

II 趣旨

財団法人MRAハウスは、戦後の混乱からの復興を“人種、宗教、信条”の違いを越えて、あらゆる国家、民族、階級間の和解の推進に努めてきました。昭和37年10月小田原市に「アジアセンター」を開設し、アジア各国の指導者・青年との交流や日本の国際化等に様々なプログラムを実施して参りました。（平成18年閉館）

戦争、貧困、自然災害など人類の平和と繁栄への道は21世紀になっても、大きな課題であります。加えて経済のグローバル化、IT革命など高度情報化社会は、国家体制にも影響を与える時代となってきました。

来年1月にはじまる超大国アメリカの新しいリーダーシップが注目されます。英国のEU離脱交渉の行方とEU周縁国の政情・信用不安、アフリカ・中近東諸国の民主化や難民問題、北朝鮮の核開発や南西諸島などの領海問題、多発する「爆弾テロ」などに国連をはじめとする戦後世界の枠組みが機能不全に直面しております。その背景には、人々の貪欲さ等に起因する「政治権益への癒着」や「腐敗」が貧富の格差を増幅し、対立をより激しいものにしていきます。

リオデジャネイロ・オリンピック、パラリンピックの祭典は、様々な不安を払拭し、成功裏に閉幕しました。私共「日本人ひとり一人」に、次ぎの「東京オリンピック」への夢と希望を伝えるとともに、大きな感動を呼ぶ大イベントでした。改めてスポーツの力を実感・共感した素晴らしい「夏」でした。

日本は3.11「東日本大震災」から6年近くが経過しようとしております。この間にも豪雨による土砂災害や川の氾濫、熊本地震等々、大きな災害に見舞われました。福島原発の廃炉問題などは大規模で継続的な取り組みが必要であることは言うまでもありません。

そしてこのような大災害を機に我々日本人の戦後約70年の生き方や考え方の根本、価値観に大きな変化が起きていると言えます。その一つは、安全神話が崩れた原発依存からの脱却と「新エネルギー政策」であり、もう一つは、急速に進む少子超高齢化社会への取り組みが、物が溢れる豊かさから、家族や地域ぐるみでつくる「安心・安全」な「絆」で繋がる社会への流れであります。

私共は長年「国際相互理解の増進」や「国際的リーダー、人材育成」などに力を注いで参りました。更にこの大震災後の「日本再生」をテーマとして、「公正かつ自由な民間公益活動の振興」への支援についても、微力ながら取り組んでいくことと致します。

III 助成領域

1. 国際相互理解の増進
2. 国際リーダー、人材育成を図る事業
3. 公正かつ自由な民間公益活動の振興支援

IV 助成金、プロジェクト実施期間

1) 助成金総額（年）：2,000 万円

① 上限 100 万円

② 150 万円～200 万円

③ 特別枠：250 万円

2) プロジェクト実施期間：(2017 年 4 月～2018 年 3 月)

V プロジェクトの実施要領

別紙